

令和6年度
中心市街地のにぎわいに関する調査

鹿児島市中心市街地活性化協議会

目次

調査概要	1
地区別集計結果	5
業種別集計結果	10
その他 経営・環境変化等について	15
【調査票】	20
【データ編】	23

I. 調査概要

1. 調査の目的

鹿児島市では、中心市街地のにぎわい創出や商業等の活性化を図ることを目的に、第4期鹿児島市中心市街地活性化基本計画（令和6～令和10年度の5ヵ年計画）を策定し、これまで毎年度、事業の進捗状況や目標指標の達成状況等を把握するためフォローアップを行っている。

このフォローアップにおいて、中心市街地の雰囲気や来街者・事業者の声などの数値に現れない定性的な内容についても把握するため、事業者が感じている中心市街地のにぎわいの状況等についてアンケート調査を実施した。

2. 調査の対象

- 〈対象地区〉 ①いづろ・天文館地区
②鹿児島中央駅地区
③上町・ウォーターフロント地区

- 〈対象の業種〉 ①卸・小売業
②飲食・宿泊業
③その他サービス業

〈事業者数〉 309 事業所

3. 調査の方法

アンケート調査票による

4. 調査の時期

令和6年10月～令和6年11月

5. 調査結果の留意事項

百分比については、四捨五入の関係で、割合の合計値が一致しない場合がある。

令和6年度中心市街地のにぎわいに関する調査報告

令和6年10月から令和6年11月までの間に実施した中心市街地商業者アンケート調査の結果についてまとめた。

1 調査概要

(1) 調査期間：令和6年10月から令和6年11月までの2か月間

(2) 調査件数：計309件

➤地区別・業種別内訳：下表のとおり（※（ ）内は合計件数に対する割合）

地区別・業種別内訳：下表のとおり

業種	鹿兒島中央駅地区	いづろ・天文館地区	上町・ウォーターフロント地区	合計【業種別】
卸・小売業	50件 (16.2%)	102件 (33.0%)	22件 (7.1%)	174件 (56.3%)
飲食・宿泊業	15件 (4.9%)	51件 (16.5%)	9件 (2.9%)	75件 (24.3%)
その他サービス業	21件 (6.8%)	20件 (6.5%)	19件 (6.1%)	60件 (19.4%)
合計【地区別】	86件 (27.8%)	173件 (56.0%)	50件 (16.2%)	309件 (100.0%)

(3) 調査方法：店舗・事業所にアンケート調査用紙を郵送又はメール（FAX・メール・対面で回収）。

2 集計結果

(1) 集計結果について

① 中心市街地のにぎわい（人通りや活気）について

5年前と比べたにぎわいの状況は、「活気が増している」＋「どちらかといえば活気が増している」の割合から「元気がなくなってきた」＋「どちらかといえば元気がなくなってきた」の割合を差し引いた D. I.※で表すと 3.9（前回調査 6.0）となっており、5年前よりもにぎわいの状況が好転したと感じている商業者の方が多かった（ただし、前回調査よりプラス幅は縮小）。

② 中心市街地の商業面での魅力（商業施設、商店街イベント等）について

5年前と比べた商業面での魅力の状況は、「魅力が向上した」＋「どちらかといえば魅力が向上した」の割合から「魅力が低下した」＋「どちらかといえば魅力が低下した」の割合を差し引いた D. I. は 20.7（前回調査 31.1）となっており、商業面での魅力は5年前よりも向上したと感じている商業者の方が多かった（ただし、前回調査よりプラス幅は縮小）。

※D. I. : Diffusion Index（ディフュージョン・インデックス）の略。企業の業況感や設備、雇用人員の過不足などの各種判断を指数化したもの。

D. I. =（プラスの回答件数構成百分比）－（マイナスの回答件数構成百分比）

③ 中心市街地の様子について

項目毎のD. I. 及びこの結果から考えられることは以下のとおり。

項目		D. I.	
		令和6年	前回調査
1 人通りの様子について	(1) 人通り全般	▲7.1	▲15.2
	(2) 外国人観光客	64.7	10.6
	(3) 若者	▲14.9	▲6.3
2 商店街の様子について	(1) 魅力ある店舗	▲11.7	▲7.0
	(2) 空き店舗	64.4	57.6
3 イベントの状況について	(1) 商店街のイベント	1.6	▲1.0
	(2) 観光客向けのイベント	▲32.4	▲27.5
4 まちの状況について	(1) 街並	28.5	27.8
	(2) 公園、憩いの場	22.7	18.2
	(3) 交通の便	▲39.8	▲27.8
5 貴店の状況について	(1) 売上	▲21.0	▲17.5
	(2) 人手不足の状況	32.4	18.9

➤1 人通りの様子について

人通り全般については、マイナス幅が縮小し、多少戻ってきている。特徴的なことは、外国人観光客が64.7と前回調査(10.6)からプラス幅が大きく伸長している。反面、若者については、マイナス幅が増大している。

➤2 商店街の様子について

魅力ある店舗は減少(▲7.0⇒▲11.7)し、空き店舗は増加している(57.6⇒64.4)と感じている商業者が多かった。

➤3 イベントの状況について

商店街イベントは1.6とプラスに転じたが、観光客向けのイベントはまだ十分でないと感じている商業者が多かった。観光客向けは▲32.4と前回調査(▲27.5)と比べ、マイナス幅が拡大した。

➤4 まちの状況について

街並み・景観のきれいさ、公園、憩いの場は充実したと感じる一方で、交通の便に関してはマイナス幅が10ポイント以上拡大(▲27.8⇒▲39.8)し、不便になったと感じている商業者が多かった。

➤5 貴店の状況について

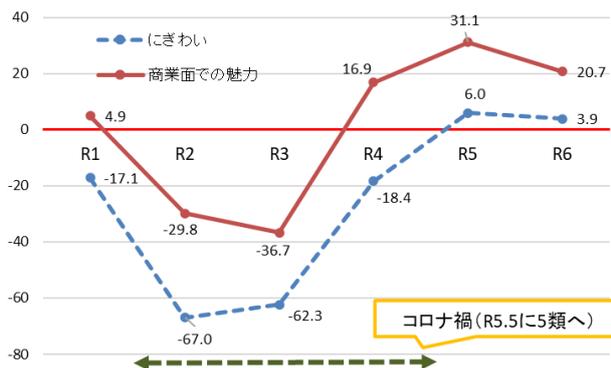
売上はマイナス幅が拡大し、人手は32.4(前回調査18.9)となり、不足していると感じている商業者が多かった。

④ 中心市街地はどんなまちであってほしいかについて

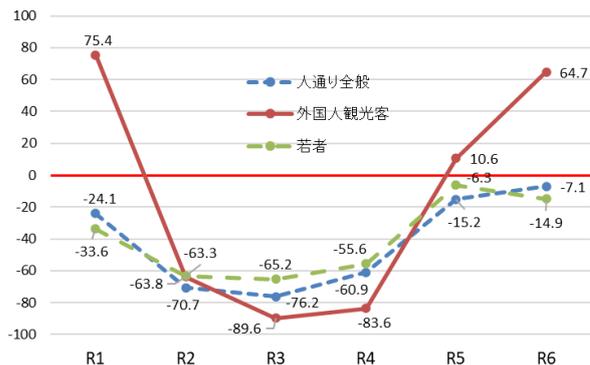
「魅力ある店舗や飲食店があるまち」80.6%（前回調査84.8%）が最も多く、8割を超えた。次いで「安心・安全に暮らせるまち」74.4%（同70.9%）、「公共交通機関の利便性が高いまち」66.7%（同66.9%、4番目）の順であった。

（参考）令和以降のD.I.値の経年年化（問1～3）

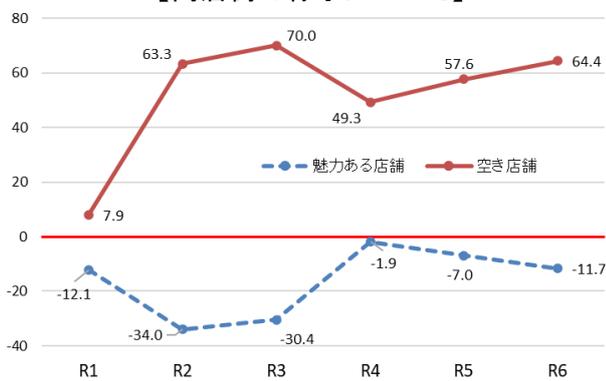
【にぎわい(人通りや活気)と商業面での魅力】



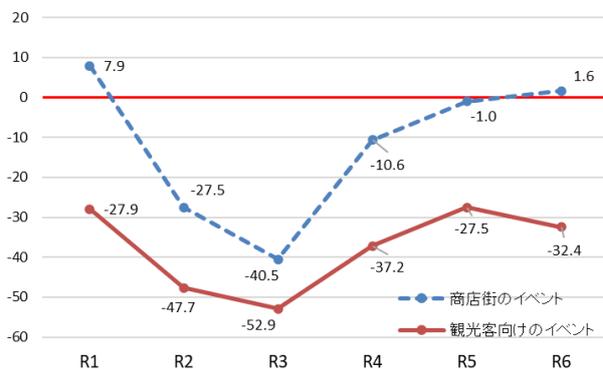
【人通りの様子について】



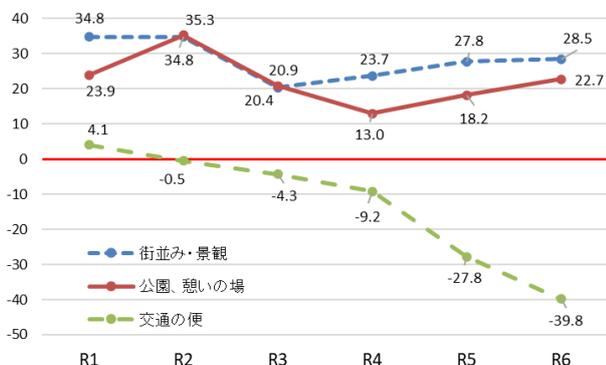
【商店街の様子について】



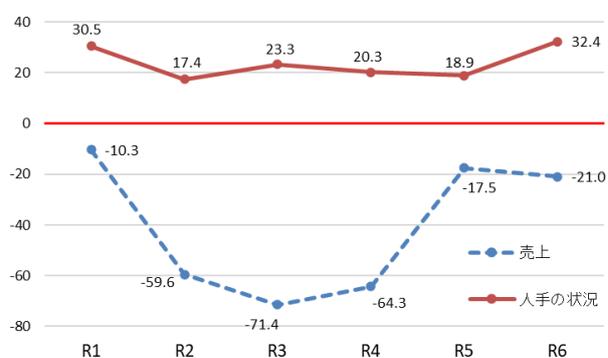
【イベントの状況について】



【まちの状況について】



【貴店の状況について】



注：調査月は各年まちまちだが、概ね各年9～12月頃

(2) 地区別の集計結果について

アンケート調査を行った店舗は地区別に、鹿児島中央駅地区 86 件 (27.8%)、いづろ・天文館地区 173 件 (56.0%)、上町・ウォーターフロント地区 50 件 (16.2%) であった。

① 中心市街地のにぎわい（人通りや活気）について

各地区の D. I. は、数字が大きい順に、鹿児島中央駅地区が 38.4（前回調査 37.8）、上町・ウォーターフロント地区 0.0（同▲3.7）、いづろ・天文館地区▲12.1（同▲6.6）であった。

上町・ウォーターフロント地区は若干好転、いづろ・天文館地区ではにぎわいが減ってきていると感じている事業者が多かったが、鹿児島中央駅地区では、昨年に引き続きプラス幅は大きく、他地区との差異がみられた。

② 中心市街地の商業面での魅力（商業施設、商店街イベント等）について

各地区の D. I. は、数字が大きい順に、鹿児島中央駅地区 46.5（前回調査 50.0）、上町・ウォーターフロント地区 12.0（同 14.8）、いづろ・天文館地区 10.4（同 27.1）であった。

鹿児島中央駅地区、いづろ・天文館地区及び上町・ウォーターフロント地区いずれも前回調査と比較するとプラス幅が縮小（商業面での魅力が低下）した。特に、いづろ・天文館地区では、魅力が低下したと感じている事業者が増加している。

③ 中心市街地の様子について

項目		中央駅	いづろ ・天文館	上町・ウォー ターフロント
1 人通りの様子について	(1) 人通り全般	17.4	▲16.2	▲18.0
		(6.1)	(▲25.3)	(▲16.7)
	(2) 外国人観光客	59.3	65.9	70.0
		(13.4)	(5.4)	(22.2)
	(3) 若者	5.8	▲20.8	▲30.0
		(18.3)	(▲16.9)	(▲11.1)
2 商店街の様子について	(1) 魅力ある店舗	17.4	▲23.7	▲20.0
		(22.0)	(▲21.7)	(▲5.6)
	(2) 空き店舗	40.7	74.0	72.0
		(29.3)	(71.1)	(59.3)
3 イベントの状況について	(1) 商店街のイベント	20.9	▲4.6	▲10.0
		(▲7.3)	(1.2)	(1.9)
	(2) 観光客向けのイベント	▲15.1	▲37.0	▲46.0
		(▲31.7)	(▲27.7)	(▲20.4)
4 まちの状況について	(1) 街並・景観	36.0	24.3	30.0
		(43.9)	(21.1)	(24.1)
	(2) 公園、憩いの場	24.4	22.5	20.0
		(23.2)	(17.5)	(13.0)
	(3) 交通の便	▲31.4	▲47.4	▲28.0
		(▲28.0)	(▲30.1)	(▲20.4)
5 貴店の状況について	(1) 売上	▲20.9	▲18.5	▲30.0
		(▲13.4)	(▲16.3)	(▲27.8)
	(2) 人手不足の状況	31.4	33.5	30.0
		(8.5)	(24.7)	(16.7)

注:()内は前回調査(令和5年9月~令和5年10月)

項目毎・地区毎のD.I.及びこの結果から考えられることは以下のとおりである。

1 人通りの様子について

鹿児島中央駅地区では、全ての項目で「増えた」という回答が多かった。他の地区では、外国人観光客は「増えた」（プラス幅拡大）一方、人通り全般、若者が依然マイナスとなり、「減った」と感じている商業者が多かった。特に、若者が「減った」（マイナス幅が拡大）とする回答が多かった。

2 商店街の様子について

鹿児島中央駅地区では、魅力ある店舗が増加してきていると感じている商業者が多かった（ただし、プラス幅は縮小）が、いづろ・天文館地区及び上町・ウォーターフロント地区では「減った」と感じている商業者が多かった。しかも、いづろ・天文館地区、上町・ウォーターフロント地区では、「減った」と感じる商業者が前回調査より増加している。

空き店舗は、いずれの地区の商業者も増加していると感じており、鹿児島中央駅地区（29.3⇒40.7）、いづろ・天文館地区（71.1⇒74.0）、上町・ウォーターフロント地区（59.3⇒72.0）となり、特に後者の2地区で70ポイント超となった。

3 イベントの状況について

商店街のイベントは、いづろ・天文館地区及び上町・ウォーターフロント地区で物足りないという回答が多かった。鹿児島中央駅地区については、「充実してきた」（▲7.3⇒20.9）と感じている商業者が増加している。

また、観光客向けのイベントについては、すべての地区で「物足りない」と感じている商業者が多かった。特に、いづろ・天文館地区及び上町・ウォーターフロント地区では、「物足りない」という回答が増加している。

4 まちの状況について

いずれの地区も、街並み・景観のきれいさ、公園、憩いの場については、「きれいになってきた」「充実した」と感じている商業者が多い。上町・ウォーターフロント地区で前者が5.9ポイント（24.1⇒30.0）、後者が7.0ポイント（13.0⇒20.0）増加している。

また、交通の便については、いずれの地区も「不便になった」という回答が多い。地区別には鹿児島中央駅地区が▲31.4（前回調査▲28.0）、いづろ・天文館地区が▲47.4（同▲30.1）、上町・ウォーターフロント地区が▲28.0（同▲20.4）となっており、「不便になった」と感じている商業者が多かった。

5 貴店の状況について

いずれの地区も、売上が減ったと感じている商業者が多かった。しかも前回調査よりマイナス幅が拡大している。鹿児島中央駅地区で5ポイント以上（▲13.4⇒▲20.9）マイナス幅が拡大している。

人手はいずれの地区においても「不足している」と感じている商業者が多かった。地区別では、いづろ・天文館地区が33.5（前回調査24.7）で最も高くなっている。

④ 中心市街地はどんなまちであってほしいかについて

	1位	2位	3位
全 体	魅力ある店舗や飲食店があるまち（80.6%）	安心・安全に暮らせるまち（74.4%）	公共交通機関の利便性が高いまち（66.7%）
鹿児島中央駅地区	魅力ある店舗や飲食店があるまち（77.9%）	安心・安全に暮らせるまち（75.6%）	街並みや景観が美しいまち 公共交通機関の利便性が高いまち（ともに69.8%）
いづろ・天文館地区	魅力ある店舗や飲食店があるまち（82.7%）	安心・安全に暮らせるまち（74.0%）	公共交通機関の利便性が高いまち（66.5%）
上町・ウォーターフロント地区	魅力ある店舗や飲食店があるまち（78.0%）	安心・安全に暮らせるまち（74.0%）	街並みや景観が美しいまち（66.0%）

全体では、「魅力ある店舗や飲食店があるまち」80.6%（地区別77.9%、82.7%、78.0%）、「安心・安全に暮らせるまち」74.4%（同75.6%、74.0%、74.0%）が上位2つ。

鹿児島中央駅地区は、「魅力ある店舗や飲食店があるまち」（77.9%）が最多で、「安心・安全に暮らせるまち」（75.6%）、「街並みや景観が美しいまち」「公共交通機関の利便性が高いまち」（ともに69.8%）が続いた。

いづろ・天文館地区は、「魅力ある店舗や飲食店があるまち」（82.7%）が最多で、「安心・安全に暮らせるまち」（74.0%）、「公共交通機関の利便性が高いまち」（66.5%）が続いた。

上町・ウォーターフロント地区は、「魅力ある店舗や飲食店があるまち」（78.0%）が最多で、「安心・安全に暮らせるまち」（74.0%）、「街並みや景観が美しいまち」（66.0%）が続いた。

鹿児島中央駅地区といづろ・天文館地区の回答を比較すると、「医療・福祉施設が充実しているまち」で、鹿児島中央駅地区の方が24.5ポイント（前回調査3.4ポイント）高かった。逆に、「働く場所がたくさんあるまち」では9.0ポイント（同13.4ポイント）、いづろ・天文館地区の方が高かった。

鹿児島中央駅地区と上町・ウォーターフロント地区を比べると、「医療・福祉施設が充実しているまち」「車で来街しやすいまち」の2つの項目では、鹿児島中央駅地区が10ポイント以上高く、「歴史や文化を感じられるまち」「地域住民による活動が活発なまち」の2つの項目では、上町・ウォーターフロント地区の方が10ポイント以上高かった。

いづろ・天文館地区と上町・ウォーターフロント地区を比べると、「働く場所がたくさんあるまち」「車で来街しやすいまち」の2項目でいづろ・天文館地区が10ポイント以上高く、「歴史や文化を感じられるまち」「地域住民による活動が活発なまち」では、上町・ウォーターフロント地区の方が10ポイント以上高かった。

【地区別の比較】

	中央駅-天文館	中央駅-上町	天文館-上町
魅力ある店舗や飲食店があるまち	▲4.8 (▲2.6)	▲0.1 (11.3)	4.7 (13.9)
大規模な商業施設があるまち	▲0.5(0.2)	1.8 (5.9)	2.2 (5.7)
イベントやお祭りが盛んなまち	0.3 (▲5.5)	2.5 (▲4.2)	2.2 (1.2)
観光客でにぎわうまち	▲4.4 (▲6.0)	2.7 (8.0)	7.1 (14.1)
歴史や文化を感じられるまち	4.3 (▲7.9)	▲11.0 (▲12.9)	▲15.3 (▲5.0)
街並みや景観が美しいまち	9.1 (▲8.3)	3.8 (▲8.2)	▲5.3 (0.1)
公園や広場など憩いややすらぎのあるまち	1.4 (0.6)	▲5.6 (1.9)	▲7.0 (1.3)
安心・安全に暮らせるまち	1.6 (▲1.6)	1.6 (4.1)	0.0 (5.6)
地域住民による活動が活発なまち	▲3.4 (5.2)	▲20.6 (▲7.2)	▲17.2 (▲12.4)
医療・福祉施設が充実しているまち	24.5 (3.4)	16.2 (13.8)	▲8.3 (10.4)
娯楽・スポーツが楽しめるまち	1.9 (4.7)	▲2.1 (10.7)	▲4.0 (6.0)
働く場所がたくさんあるまち	▲9.0 (▲13.4)	6.9 (13.7)	15.9 (27.1)
公共交通機関の利便性が高いまち	3.3 (▲0.4)	7.8 (9.0)	4.5 (9.4)
車で来街しやすいまち	▲8.5 (▲5.6)	10.0 (7.6)	18.5 (13.2)

注1：中央駅＝鹿児島中央駅地区、天文館＝いづろ・天文館地区、上町＝上町・ウォーターフロント地区

注2：中央駅-天文館の例

「魅力ある店舗や飲食店があるまち」77.9%（中央駅）－82.7%（天文館）＝▲4.8

注3：（ ）内は前回調査

(3) 業種別の集計結果について

アンケート調査を行った店舗を卸・小売業 174 件 (56.3%)、飲食・宿泊業 75 件 (24.3%)、その他サービス業 60 件 (19.4%) の 3 業種に区分した。

① 中心市街地のにぎわい（人通りや活気）について

各業種の D. I. は、数字が大きい順に、その他サービス業 40.0 (前回調査 12.1)、卸・小売業▲4.0 (同▲8.7)、飲食・宿泊業▲6.7 (同 16.9) であった。

業種によって差異がみられ、卸・小売業、飲食・宿泊業では元気がなくなってきたと感じている商業者が多かった。

② 中心市街地の商業面での魅力（商業施設、商店街イベント等）について

各業種の D. I. は、数字が大きい順に、その他サービス業 38.3 (同 32.1)、卸・小売業 19.5 (同 26.2)、飲食・宿泊業 9.3 (同 37.3)、であった。

いずれの業種も、魅力が向上していると感じている商業者が多かった。

③ 中心市街地の様子について

項目		卸・小売り	飲食・宿泊	その他 サービス
1 人通りの様子について	(1) 人通り全般	▲9.8	▲25.3	23.3
		(▲30.1)	(▲10.2)	(▲6.4)
	(2) 外国人観光客	60.9	58.7	83.3
		(14.6)	(1.7)	(11.4)
	(3) 若者	▲16.7	▲21.3	▲1.7
		(▲18.4)	(0.0)	(0.0)
2 商店街の様子について	(1) 魅力ある店舗	▲14.9	▲28.0	18.3
		(▲19.4)	(▲10.2)	(3.6)
	(2) 空き店舗	64.9	66.7	60.0
		(61.2)	(66.1)	(51.4)
3 イベントの状況について	(1) 商店街のイベント	▲ 2.3	▲4.0	20.0
		(▲ 13.6)	(1.7)	(7.1)
	(2) 観光客向けのイベント	▲40.8	▲21.3	▲21.7
		(▲34.0)	(▲28.8)	(▲22.1)
4 まちの状況について	(1) 街並・景観	27.6	22.7	38.3
		(34.0)	(15.3)	(28.6)
	(2) 公園、憩いの場	20.1	26.7	25.0
		(13.6)	(13.6)	(23.6)
	(3) 交通の便	▲39.7	▲40.0	▲40.0
		(▲28.2)	(▲33.9)	(▲25.0)
5 貴店の状況について	(1) 売上	▲34.5	2.7	▲11.7
		(▲32.0)	(▲16.9)	(▲7.1)
	(2) 人手不足の状況	28.7	45.3	26.7
		(15.5)	(28.8)	(17.1)

注:()内は前回調査(令和5年9月～令和5年10月)

項目毎・業種毎の D. I. 及びこの結果から考えられることは以下のとおりである。

1 人通りの様子について

人通りの様子については、いずれの業種でも外国人観光客が「増えた」という回答が 50 ポイント超（58.7（飲食・宿泊業）～83.3（その他サービス業））と大幅に増加した。逆に、若者はいずれの業種でもマイナスで飲食・宿泊業▲21.3（前回調査0.0）、卸・小売業▲16.7（同▲18.4）と2ケタ台のマイナスとなった。

人通り全般はまちまちで、卸・小売業は、▲9.8（同▲30.1）とマイナス幅が縮小した一方で、飲食・宿泊業では▲25.3（前回調査▲10.2）と「減った」と感じている商業者が依然多く、マイナス幅は拡大した。また、その他サービス業では23.3（▲6.4）となり、プラスに転じた。

2 商店街の様子について

魅力ある店舗については、その他サービス業で 18.3（前回調査 3.6）となりプラス幅が拡大したが、卸・小売業▲14.9（同▲19.4）及び飲食・宿泊業▲28.0（同▲10.2）においては2ケタのマイナスが続いている。

空き店舗はいずれの業種も増加していると感じている商業者が多かった。前回調査と比較すると、その他サービス業で 8.6 ポイント（同 51.4⇒60.0）、卸・小売業で 3.7 ポイント（同 61.2⇒64.9）、飲食・宿泊業で 0.6 ポイント（同 66.1⇒66.7）と全ての業種で「増えた」と感じている商業者が多かった。

3 イベントの状況について

商店街イベントについては、卸・小売業で物足りないと感じる商業者が多かったものの、とりわけ、その他サービス業（7.1⇒20.0）では充実してきたと感じている商業者が多くなった。

観光客向けのイベントについては、全ての業種で 20 ポイント以上のマイナスとなり、特に、卸・小売業で▲40.8（前回調査▲34.0）となり、物足りないと感じている商業者が多かった。

4 まちの状況について

いずれの業種においても、街並み・景観のきれいさ、公園、憩いの場が充実していると感じている商業者が多かった。交通の便では、いずれの業種でも不便になったと感じている商業者が多く、前回調査と比較すると、卸・小売業で、11.5 ポイント減少（前回調査▲

28.2⇒▲39.7)、飲食・宿泊業で 6.1 ポイント減少(同▲33.9⇒▲40.0)、その他サービス業 15.0 ポイント減少(▲25.0⇒▲40.0)している。

5 貴店の状況について

売上は、飲食・宿泊業で好転(▲16.9⇒2.7)した以外、他の2業種において悪化している。マイナス幅が特に大きい業種は、卸・小売業で▲34.5(前回調査▲32.0)となった。

人手については、いずれの業種とも不足していると感じている商業者が多かった。卸・小売業で、13.2 ポイント増加(前回調査 15.5⇒28.7)、飲食・宿泊業で 16.5 ポイント増加(同 28.8⇒45.3)、その他サービス業 9.6 ポイント増加(17.1⇒26.7)している。

④ 中心市街地はどんなまちであってほしいかについて

いずれの業種も「魅力ある店舗や飲食店があるまち」が 80.6%(卸・小売業 78.7%、飲食・宿泊業 82.7%、その他サービス業 83.3%)で最も多かった。

卸・小売業は、「安心・安全にくらせるまち」75.3%(前回調査67.0%)、「公共交通機関の利便性が高いまち」67.8%(同 72.8%)と続いた。

飲食・宿泊業も同様に「安心・安全にくらせるまち」74.7%(同 78.0%)、「公共交通機関の利便性が高いまち」68.0%(同 61.0%)と続いた。

その他サービス業は、「街並みや景観が美しいまち」75.0%(同72.1%)、「安心・安全にくらせるまち」71.7%(同 70.7%)と続いた。

卸・小売業と飲食・宿泊業を比較すると、卸・小売業が「医療・福祉施設が充実しているまち」で約9ポイント高く、「歴史や文化を感じられるまち」では、飲食・宿泊業が10ポイント以上高かった。

卸・小売業とその他サービス業を比べると、「働く場所がたくさんあるまち」「公共交通機関の利便性が高いまち」「車で来街しやすいまち」で卸・小売業が6ポイント超高く、その他サービス業の方が「歴史や文化を感じられるまち」「街並みや景観が美しいまち」で10ポイント以上(それぞれ23.3、13.5ポイント)高かった。

飲食・宿泊業とその他サービス業を比べると、「観光客でにぎわうまち」は、飲食・宿泊業の方が10ポイント弱(9.7ポイント)近く高かったが、「歴史や文化を感じられるまち」「街並みや景観が美しいまち」では、その他サービス業が10ポイント以上(それぞれ11.7、13.7ポイント)高かった。

【業種別の比較】

	卸・小売業-飲食・宿泊業	卸・小売業-その他サービス業	飲食・宿泊業-その他サービス業
魅力ある店舗や飲食店があるまち	▲3.9 (5.1)	▲4.6 (1.4)	▲0.7 (▲3.6)
大規模な商業施設があるまち	▲5.6 (▲1.4)	0.1 (▲8.0)	5.7 (▲6.6)
イベントやお祭りが盛んなまち	▲8.9 (1.1)	▲3.6 (1.4)	5.3 (0.3)
観光客でにぎわうまち	▲6.0 (▲3.3)	3.6 (9.4)	9.7 (12.6)
歴史や文化を感じられるまち	▲11.6 (▲8.6)	▲23.3 (▲4.4)	▲11.7 (4.2)
街並みや景観が美しいまち	0.2 (▲4.7)	▲13.5 (▲9.0)	▲13.7 (▲4.3)
公園や広場など憩いややすらぎのあるまち	3.1 (▲4.7)	▲0.9 (▲4.4)	▲4.0 (0.3)
安心・安全に暮らせるまち	0.6 (▲11.0)	3.6 (▲3.7)	3.0 (7.3)
地域住民による活動が活発なまち	▲9.2 (▲6.0)	▲1.6 (▲5.9)	7.7 (0.1)
医療・福祉施設が充実しているまち	9.1 (▲2.4)	2.1 (▲2.6)	▲7.0 (▲0.2)
娯楽・スポーツが楽しめるまち	▲4.8 (3.2)	▲0.8 (▲1.5)	4.0 (▲4.8)
働く場所がたくさんあるまち	▲1.7 (4.2)	6.3 (6.6)	8.0 (2.4)
公共交通機関の利便性が高いまち	▲0.2 (11.8)	6.1 (7.8)	6.3 (▲4.0)
車で来街しやすいまち	4.0 (18.0)	6.4 (17.1)	2.3 (▲0.9)

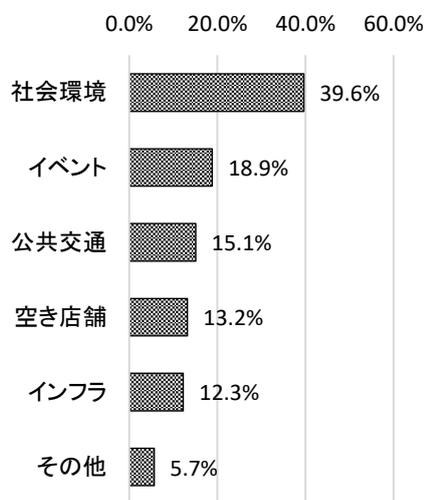
注1：卸・小売業-飲食・宿泊業の例

「魅力ある店舗や飲食店があるまち」78.7%（卸・小売業）－82.7%（飲食・宿泊業）＝▲3.9
（小数点以下第2位を四捨五入している関係で表示が異なる場合がある）

注2：（ ）内は前回調査

問5 中心市街地のにぎわいに必要と思われることや活性化に向けて課題となっていること（自由記述）（詳細は「データ編」参照）

106の商業者から回答を得られた。おおまかに課題を分類すると、魅力ある店舗が少ない、子どもを遊ばせる場所が少ない、高齢者のためのベンチ設置、通り会等への入会が乏しいといった社会環境に関する課題が約4割を占めた。次いで、イベント（18.9%）、公共交通（15.1%）、空き店舗（13.2%）という状況であった。

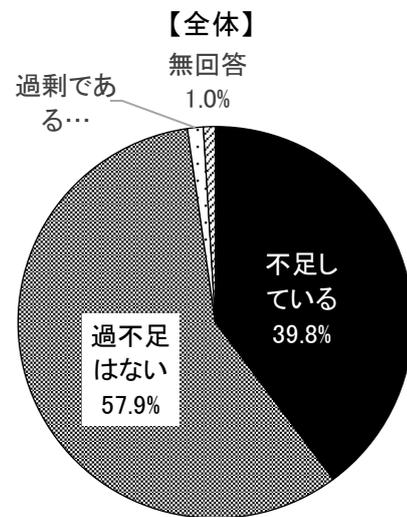


【その他 経営・環境変化等について】

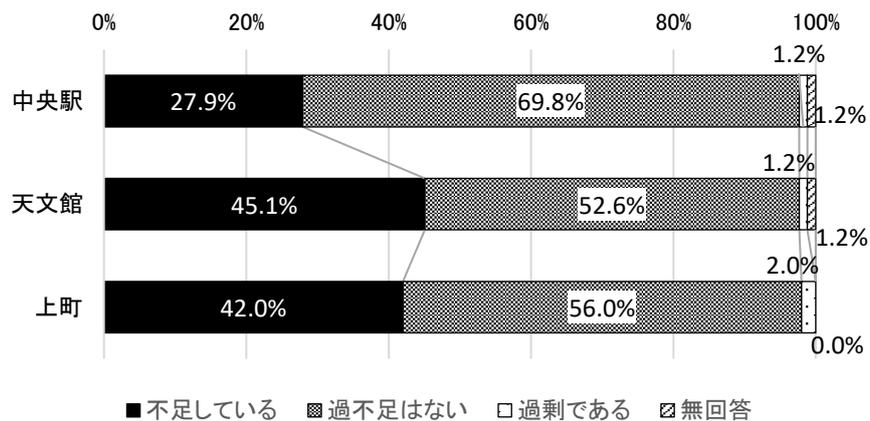
問6 貴社における現在の人員の充足状況について

人員の充足状況については、約4割の事業所で「不足している」と回答した。前回調査での「社員・従業員等の人手不足」(34.4%)からは、やや上昇している。

地区別には、いづろ・天文館地区(45.1%)、業種別には、飲食・宿泊業(52.0%)で高い割合となっている。

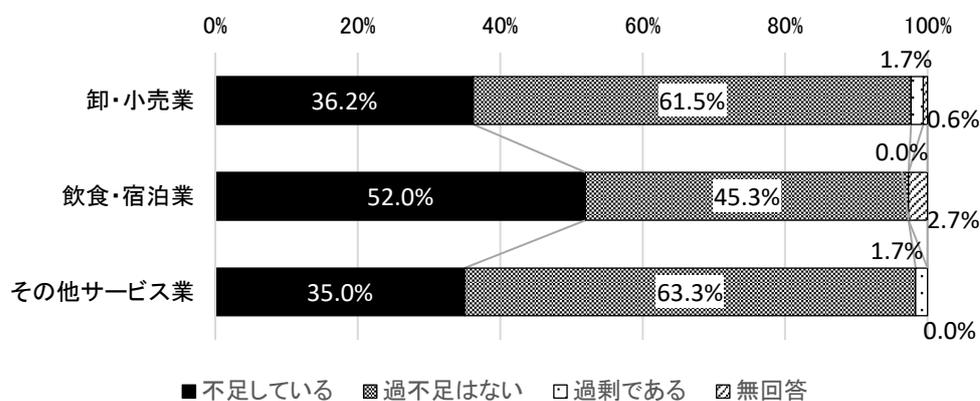


【地区別】



注: 中央駅=鹿児島中央駅地区、天文館=いづろ・天文館地区、上町=上町・ウォーターフロント地区

【業種別】



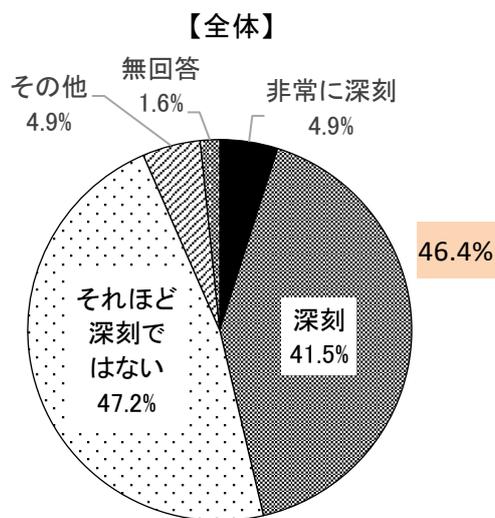
問7 問6で「不足している」と回答した事業者の方へ

(1) 人材不足の深刻度について

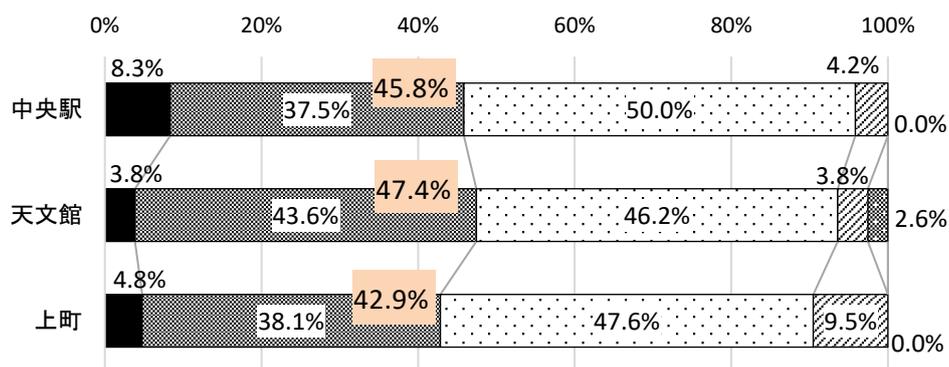
人材不足の深刻度については、半数近い(46.4%)事業所で「非常に深刻」「深刻」と回答した。類似した前回調査での設問で、約7割の事業者が回答したが、それよりは縮小している。

地区別には、いづろ・天文館地区(47.4%)が高い割合だが、「非常に深刻」だけみると、鹿児島中央駅が、8.3%と相対的に高い割合となっている。

業種別には、卸・小売業(52.4%)で高い割合となっている。

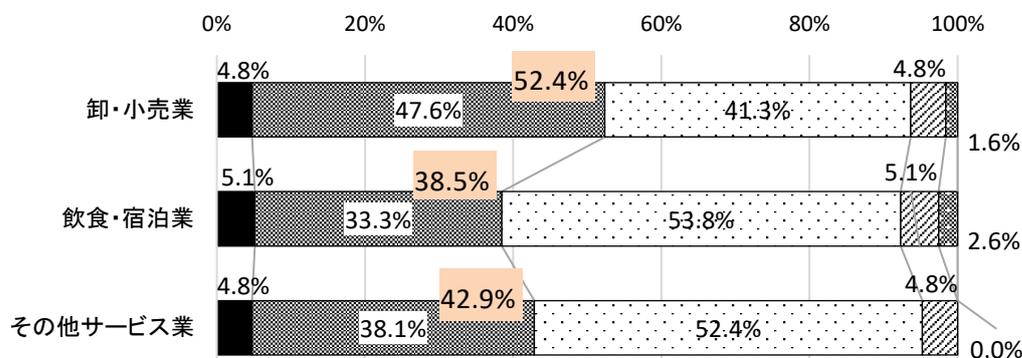


注: の数字は、「非常に深刻」「深刻」の合計(下図も同様)



■非常に深刻 ■深刻 □それほど深刻ではない ▨その他 ■無回答

注: 中央駅=鹿児島中央駅地区、天文館=いづろ・天文館地区、上町=上町・ウォーターフロント地区



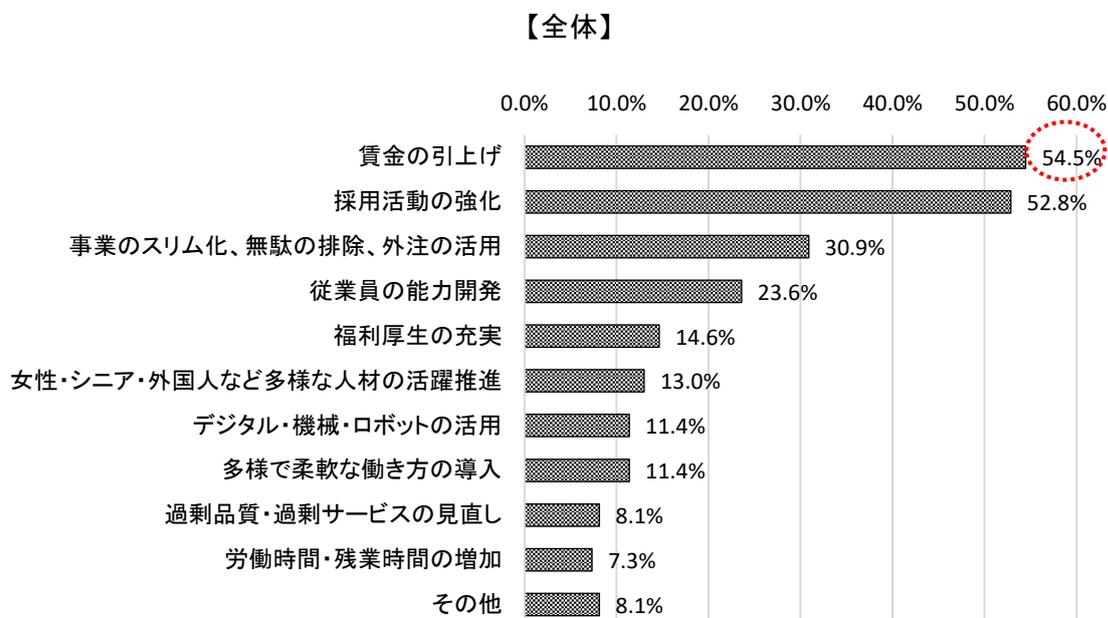
■非常に深刻 ■深刻 □それほど深刻ではない ▨その他 ■無回答

(2) 貴社では人材不足への対応方法としてどのような取組を実施・検討されていますか。

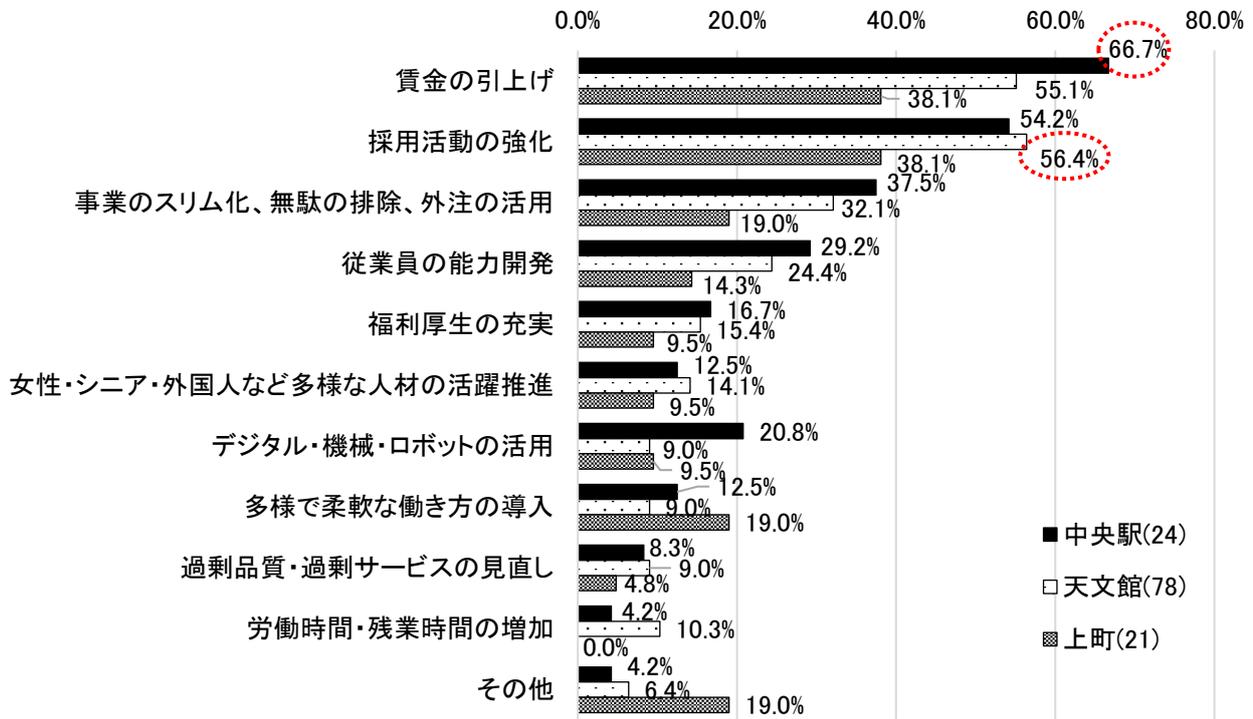
人材不足への対応方法としての取組については、「賃金の引上げ」(54.5%)、「採用活動の強化」(52.8%)が上位2つで、ともに半数を超えた。次いで、「事業のスリム化、無駄の排除、外注の活用」「従業員の能力開発」「福利厚生の実充」が続いた。

地区別には、いづろ・天文館地区では「賃金の引上げ」(66.7%)、鹿児島中央駅では「採用活動の強化」(56.4%)、上町・ウォーターフロント地区では「賃金の引上げ」「採用活動の強化」(ともに38.1%)が最多であった。

業種別には、卸・小売業で「採用活動の強化」(55.6%)、飲食・宿泊業で「賃金の引上げ」(61.5%)、その他サービス業で「採用活動の強化」(61.9%)で最も高い割合となっている。



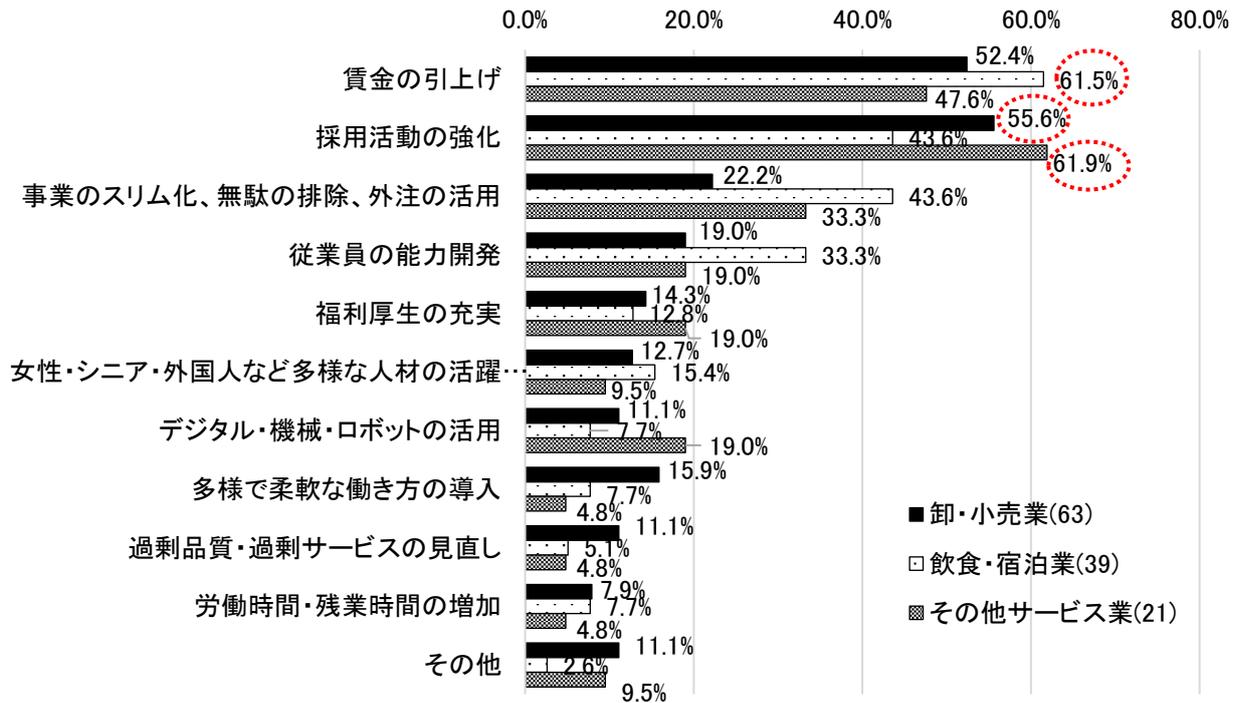
【地区別】



注1：中央駅＝鹿児島中央駅地区、天文館＝いづろ・天文館地区、上町＝上町・ウォーターフロント地区

注2：凡例の（ ）内は回答者数

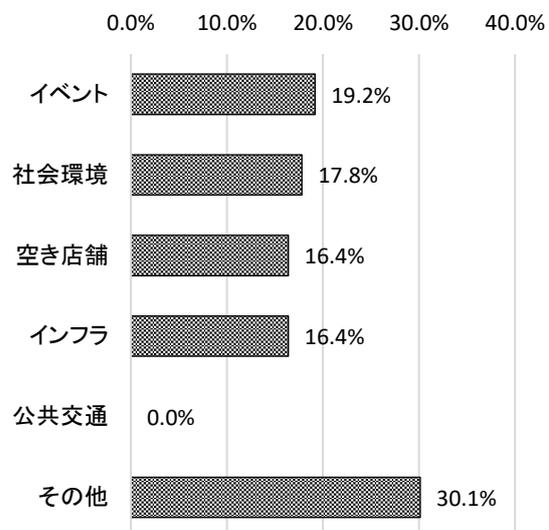
【業種別】



問8 貴店が所在する商店街や通り会の賑わい創出等への意見・要望等（自由記述）

（詳細は「データ編」参照）

意見・要望等に関しては 73 の事業者から回答があった。内容は様々だが、大きくイベント（19.2%）、社会環境に関すること（17.8%）、空き店舗、インフラ（ともに16.4%）という順となった。イベントでは、積極的に実施してほしい、発信方法を工夫する、魅力あるイベント企画等の意見・要望がみられた。また、空き店舗対策では、補助等の要望も複数寄せられた。



【調査票】

FAX返信先 099-227-1977

メールアドレス shinkou@road.ocn.ne.jp

鹿児島商工会議所 産業振興部 行

鹿児島市中心市街地活性化協議会事業
(鹿児島商工会議所) TEL: 099-225-9540

中心市街地のにぎわいに関する調査

地区名 ()

事業所名 ()

回答日：令和6年 月 日

問1 いづろ・天文館地区、鹿児島中央駅地区、上町・ウォーターフロント地区といった中心市街地のにぎわい（人通りや活気）は、5年前と比べてどうなったと思いますか。当てはまる選択肢を **1つ** お選びください。

- ① () 活気が増している
- ② () どちらかといえば活気が増している
- ③ () 変わらない
- ④ () どちらかといえば元気がなくなってきた
- ⑤ () 元気がなくなってきた

問2 中心市街地の商業面での魅力（商業施設、商店街イベント等）は、5年前と比べてどうなったと思いますか。あてはまる選択肢を **1つ** お選びください。

- ① () 魅力が向上した
- ② () どちらかといえば魅力が向上した
- ③ () 変わらない
- ④ () どちらかといえば魅力が低下した
- ⑤ () 魅力が低下した

【参考】中心市街地に関する主な出来事

平成31年・令和元年（5年前）	
1月	西郷どん大河ドラマ館閉館（入館者数約55万3千人）
6月	よかど鹿児島（鹿児島銀行新本店ビル内商業施設）開業
令和2年	
4月	新型コロナウイルス感染拡大で緊急事態宣言・全都道府県に拡大（4/16～5/14）
10月	加治屋まちの杜公園及び公園内カフェの供用開始、Go To Eat 食事券販売・使用開始
12月	かごしまふるさと屋台村営業終了
令和3年	
6月	鹿児島中央タワーの商業施設「Li-ka1920（ライカ1920）」開業（6/18）
8月	新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置・鹿児島県独自の緊急事態宣言発令（～9/30）
10月	食べて応援！鹿児島市プレミアムポイント事業（第1弾）販売・使用開始
令和4年	
1月	新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置（鹿児島県1/27～3/6）
4月	千日町1・4番街区市街地再開発ビル「センテラス天文館」開業（4/9）
	食べて応援！鹿児島市プレミアムポイント事業（第2弾）販売・使用開始
7月	桜島 爆発的噴火
10月	照国表参道歩行者天国社会実験
令和5年	
4月	「AMU WE」開業（4/14）
5月	新型コロナウイルス感染症 感染症法上の5類に引下げ（5/8～）
6月	国際定期便（香港線）再開（6/5）
7月	「かごしま総文祭」開催（7/29～8/4）
10月	「かごしま国体・かごしま大会」開催（10/7～10/17・10/28～10/30）
	国際定期便（ソウル線）再開（10/29）
令和6年	
4月	「ドン・キホーテ鹿児島中央一番街店」開業（4/23）
5月	国際定期便（台北線）再開（5/7）
5月	「」（上海線）再開（7/16）
7月	「アジア太平洋都市サミット」開催（8/22～8/24）
8月	加治屋町・高見馬場交差点ポケットパーク設置社会実験「やどり木パーク」開催
9月	（9/14～9/23・10/11～10/14）

問3 中心市街地の様子は、5年前と比べてどう変わったと思いますか。下の項目からあてはまる選択肢を**1つずつ**お選びください。

項目	選択肢		
1. 人通りの様子について			
(1) 人通り全般	① () 増えた	② () 変わらない	③ () 減った
(2) 外国人観光客	① () 増えた	② () 変わらない	③ () 減った
(3) 若者	① () 増えた	② () 変わらない	③ () 減った
2. 商店街の様子について			
(1) 魅力ある店舗	① () 増えた	② () 変わらない	③ () 減った
(2) 空き店舗	① () 増えた	② () 変わらない	③ () 減った
3. イベントの状況について			
(1) 商店街のイベント	① () 充実してきた	② () 変わらない	③ () 物足りない
(2) 観光客向けのイベント	① () 充実してきた	② () 変わらない	③ () 物足りない
4. まちの状況について			
(1) 街並み・景観	① () きれいになってきた	② () 変わらない	③ () 汚れてきた
(2) 公園、憩いの場	① () 充実した	② () 変わらない	③ () 減った
(3) 交通の便	① () 便利になった	② () 変わらない	③ () 不便になった
5. 貴店の状況について			
(1) 売上	① () 増えた	② () 変わらない	③ () 減った
(2) 人手の状況	① () 不足している	② () 変わらない	③ () 余っている

問4 中心市街地はどんなまちであってほしいと思いますか。あてはまる選択肢を**全て**お選びください。[複数回答可]

- | | |
|---------------------------|------------------------|
| ① () 魅力ある店舗や飲食店があるまち | ⑧ () 安心・安全に暮らせるまち |
| ② () 大規模な商業施設があるまち | ⑨ () 地域住民による活動が活発なまち |
| ③ () イベントやお祭りが盛んなまち | ⑩ () 医療・福祉施設が充実しているまち |
| ④ () 観光客でにぎわうまち | ⑪ () 娯楽・スポーツが楽しめるまち |
| ⑤ () 歴史や文化を感じられるまち | ⑫ () 働く場所がたくさんあるまち |
| ⑥ () 街並みや景観が美しいまち | ⑬ () 公共交通機関の利便性が高いまち |
| ⑦ () 公園や広場など憩いややすらぎのあるまち | ⑭ () 車で来街しやすいまち |

問5 その他、中心市街地のにぎわいに必要と思われることや活性化に向けて課題となっていることなどがありましたらお書きください。

【その他 経営・環境変化等について】

問6 貴社における現在の人員の充足状況について、該当するもの1つをお選びください。

- ① () 不足している
- ② () 過不足はない
- ③ () 過剰である

問7 問6にて「不足している」と回答した事業者の方へ

1) 人材不足の深刻度について、あてはまる選択肢を1つお選びください。

- ① () 非常に深刻（事業運営に深刻な影響があり、廃業の恐れがある）
- ② () 深刻（事業運営に影響があり、今後の事業継続に支障が生じる恐れがある）
- ③ () それほど深刻ではない（事業運営に特段の支障はない）
- ④ () その他く >

2) 貴社では人材不足への対応方法としてどのような取組を実施・検討されていますか。以下のうち、あてはまる選択肢を全てお選びください。[複数回答可]

- ① () 採用活動の強化（非正規含む）
- ② () 労働時間・残業時間の増加
- ③ () 賃金の引上げ
- ④ () 事業のスリム化、無駄の排除、外注の活用
- ⑤ () 過剰品質・過剰サービスの見直し
- ⑥ () デジタル・機械・ロボットの活用
- ⑦ () 女性・シニア・外国人材など多様な人材の活躍推進
- ⑧ () 従業員の能力開発
- ⑨ () 多様で柔軟な働き方の導入（テレワーク、副業・兼業など）
- ⑩ () 福利厚生の充実
- ⑪ () その他く >

問8 貴店が所在する商店街や通り会の賑わい創出等のために、ご意見・ご要望等があればご自由にご記入ください。

《ご協力ありがとうございました》